

2018 度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 4 日作成)

小委員会名	地方都市再生手法小委員会	主 査 名：野嶋慎二 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小浦 久子 主 査 名：
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトな都市構造の形成と中心市街地の都市再生手法に関する知見を提示。 ・集約型都市構造に向けた地域拠点の計画と実態及びそのあり方を研究。 ・官民様々な都市機能の集約を行い魅力ある都市空間を創出する方法の提示。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 野嶋慎二 (福井大学)、樋口秀 (長岡技術科学大学)、長 聡子 (西日本工大) 石川宏之 (静岡大学)、石村壽浩 (ランドブレイン (株))、石丸希 (NTT データ経営研究所)、小林剛士 (山口大学)、内田奈芳美 (埼玉大学)、浅野純一郎 (豊橋技術科学大学)、内田晃 (北九州市立大学)、松浦健治郎 (千葉大学)、小野寺一成 (三重短期大学)	
設置 WG	無	
2018 年度予算	245,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.urban.kde.yamaguchi-u.ac.jp/UrbanRegeneration/index.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 津市と伊勢視察と行政担当職員との意見交換会 (10 月 26 日、28 日) 参加者数 委員関係者 7 名+市役所 3 名+地元まちづくり関係者 1 名 計 11 名 2. 三重短期大学地域連携公開講座での研究発表とパネルディスカッション 参加者数 委員関係者 7 名+聴衆 約 50 名
大会研究集会	1. 日本建築学会大会都市計画部門パネルディスカッション開催 テーマ「拠点論～計画された拠点と現実」、参加者数 約 150 名 2. 日本建築学会大会オーガナイズドセッション開催 テーマ「コンパクトな市街地形成と縮小型都市計画のための制度・技術」(都市構造再編小委員会との共同開催) 発表題数 18 題 (都市再生手法：拠点施策他 6 テーマ)、参加者数 80 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「研究及び研究会」(年 3 回) 「集約型都市構造の構築に向けて、集約化すべき拠点の役割や位置づけの調査から、拠点像を明確にし、集約拠点を実現していくための整備手法を明らかにする。」という計画に対し、各委員が研究を行い、その成果をパネルディスカッション資料集で発表した。さらに三重短期大学の地域連携公開講座で研究の発表も行った。 2. 「学会大会でのパネルディスカッションの開催」という目標に対し、9 月 4 日 (火) 9 : 15～12 : 30 に東方大学にて開催し、趣旨説明の後、5 名のパネラーによる発表、及びパネルディスカッションを行い、多くの参加者の元、活発な意見交換を行った。 3. 「学会オーガナイズドセッション開催」という目標に対し、研究成果を OS で発表した。以上、本年度の活動計画は達成できたと考えている。
委員会活動の問題点・課題	